ARO協議会
専門家連絡会報告会

PPI/E専門家連絡会



2026/9/26

Agenda

1. PPI/E専門家連絡会の体制図
2. PPI/E専門家連絡会の目標・方向性
3. 活動報告
4. 今後の展望

1.PPI/E専門家連絡会の体制図

代表理事　花岡　英紀（千葉大学）

参画校

千葉大学（事務局）
国立がん研究センター
北海道大学

← PPI/E専門家連絡会
コアメンバー

東北大学
筑波大学
公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
岡山大学
順天堂大学
名古屋大学
京都大学
東京科学大学
藤田医科大学

2.PPI/E専門家連絡会の目標・方向性

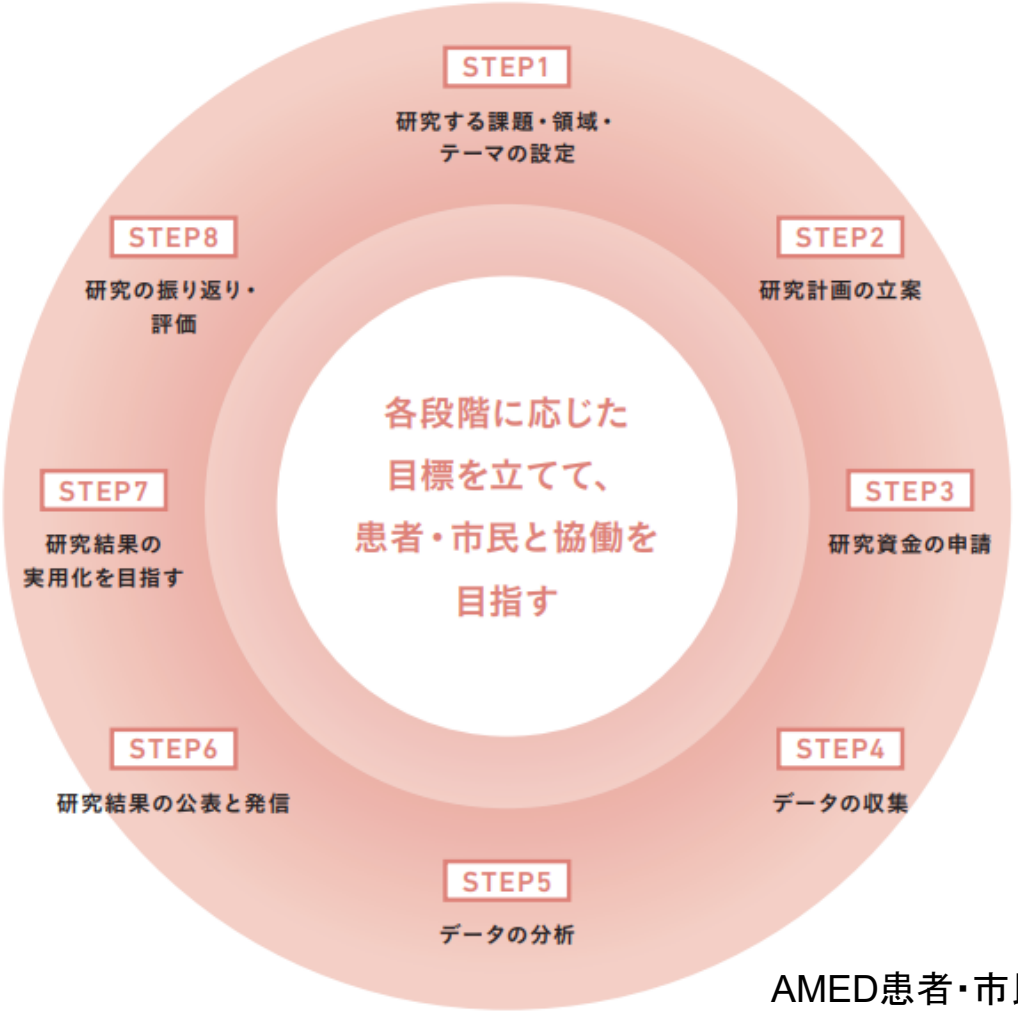
ARO協議会として、参加機関自らが、各々の状況に応じたPPI 活動の目的を設定・明確化した上で自らのPPI 活動の取組み（知識・ノウハウ）を互いに共有し、専門家連絡会としてPPI 活動を前に進めていくための連携する基盤を築く。

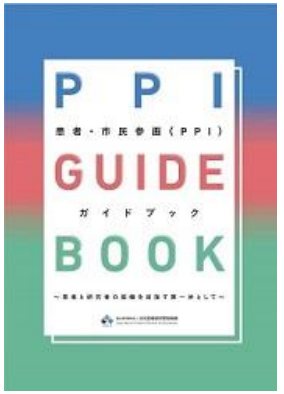
また、当該専門家連絡会は、患者・市民との対話の場を継続的に提供し、相互理解を深めるとともに、患者・市民と私たち研究実施側双方にとって有意義な医学研究・臨床試験の実施につなげる。



2.PPI/E専門家連絡会の目標・方向性

AMED患者・市民（PPI）ガイドブックの「研究段階における8ステップ」に従って、各施設がPPI/E活動を実施できる体制を構築する。





AMED患者・市民参画（PPI）ガイドブック、
https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html

2.PPI/E専門家連絡会の目標・方向性

- AMED PPIガイドブック改訂・GCP省令改正に併せて、AMEDやPMDA、厚生労働省といった行政機関とともにPPI 活動の普及に努める
- 日本におけるPPI のナレッジハブとして、グローバル動向・最新知見の継続的な収集に努める
- 社会に対して的確な情報発信を継続しておこなうことで、ARO協議会 PPI /E専門家連絡会及びそこでの活動の認知度を高める
- 日本臨床試験学会のPPI特別委員会など連携可能な団体を調査し、他の活動と連携しつつも、ARO協議会としての存在価値を発揮する
- テーマごとにサブワーキンググループをつくる（例：レイサマリー、学校・市民教育など）

ARO協議会として、

- 医療者や研究者へのPPIの理解を高める取組みを行う
- ARO協議会外のPPI活動の先導役となる

3.活動報告

1. 2026年1月26日、2026年3月31日
   PPI/E専門家連絡会コアメンバー　ミーティング

2. 2026年7月16日
   PPI/E専門家連絡会キックオフミーティング

3. 2026年9月25日（ARO協議会1日目）
   PPI/E専門家連絡会：
   PPI/E専門家連絡会の設立記念セミナー レイサマリーを考える
   演者：武藤 香織（東京大学 医科学研究所）

4. 2026年9月26日（ARO協議会2日目）
   PPI/E専門家連絡会会議

3.活動報告

1. 2026年1月26日、2026年3月31日
   PPI/E専門家連絡会コアメンバー　ミーティング

本専門家連絡会のコアメンバーである
国立がん研究センター東病院および北海道大学の担当者と
本専門家連絡会の目標と方向性について、相談し決定した。

3.活動報告

2. 2026年7月16日
   PPI/E専門家連絡会キックオフミーティング

本専門家連絡会の目標と方向性を共有した。
また、本専門家連絡会への参加施設から、
参加者の自己紹介および各施設の取組みを紹介していただいた。

3.活動報告

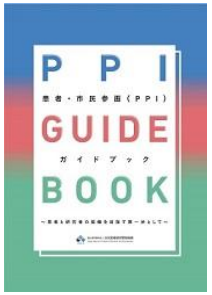
座長:
花岡 英紀(千葉大学医学部附属病院 臨床試験部)
佐藤 暁洋(国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門)
指定発言:
小村 悠(国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門／医薬品開発推進部門)
渡邊 祐介(北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構／藤田医科大学 先端ロボット・内視鏡手術学講座)

3. 2026年9月25日(ARO協議会1日目)
PPI/E専門家連絡会:
PPI/E専門家連絡会の設立記念セミナー レイサマリーを考える
演者:武藤 香織(東京大学 医科学研究所)

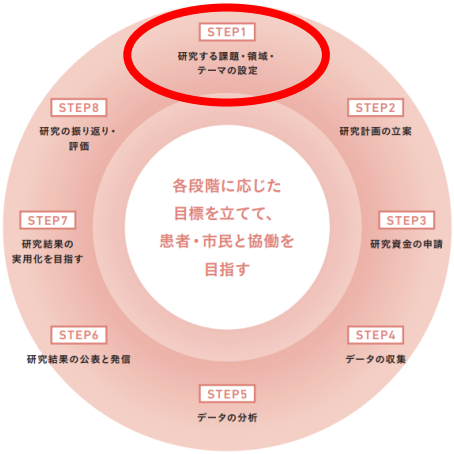
概要:
専門家連絡会の設立趣旨と役割を共有するとともに、レイサマリーを中心にAMED事業等におけるPPI/Eの実践事例を紹介し、研究構想段階からの患者・市民参画やワークショップを通じた協働の在り方について議論する。ARO協議会および大学病院臨床試験アライアンスが連携し、持続可能なPPI/E推進体制を構築するための今後の展望を中心に示す。

3.活動報告

専門家連絡会会議では、
AMED患者・市民（PPI）ガイドブックの「研究段階における8ステップ」を
題材として取り上げ、毎回1ステップずつ議題としながら、
各施設で実践していくために必要な事項や課題等について、
議論することとなった。



2026年9月26日（ARO協議会2日目）では、
STEP1「研究する課題・領域・テーマの設定」について、
AMED患者・市民（PPI）ガイドブックや各施設の事例を紹介し、
各拠点の取り組み状況や悩みなどを共有すること予定である。



4. 2026年9月26日（ARO協議会2日目）
PPI/E専門家連絡会会議

4.今後の展望

- AMED患者・市民（PPI）ガイドブックの「研究段階における8ステップ」を用いて、ステップごとに各施設で実践していくために必要な事項や課題等について、議論を継続する。

- レイサマリーの作成等の具体的な患者・市民参画（PPI/E）活動を推進する。